

ひでお行動

VOL.23

<http://www.hideo-y.org/#top>
吉泉秀男の毎日の動きがわかります。
ホームページをご覧ください。

6月28日

今日から高速道路無料化、酒田から山形まで走るが混んではいなかった。事務所に顔を出し山形で11時から開催される「選対会議」に出席。各支部代表者から出席頂き、最後の意思疎通である。議席確保1名から2名と厳しいマスコミ情報の中で、残り14日間で、選挙区候補出していない我が県にとっては比例区3名当選させる責任があるし、得票目標がっちり獲得することをお願いする。選対本部に顔を出してから宮城県石巻市へ、菅野哲雄候補の応援である。ローカル線「仙山線」「仙石線」を乗り継いでいく。約3時間半かけての旅である。松島、塩釜など景色を眺めながら・・・しかしそもいかず、今日からの遊説日程など連絡入り調整、ホテルの予約など秘書に指示、7時から石巻市JAホールで個人演説会、参加者は約100人、石巻は5月に市議選挙で千葉議員を当選させた勢いが続いている。20分の持ち時間もあっという間に終る。ウグイス嬢で頑張ってい

るH嬢、彼女は前回失敗した仙台市議選、来春挑戦するが定数2名減になり厳しい戦いは必死である。お互いにエールを交換する。明日岩手応援であり今日のうち仙台に戻る。

6月29日

朝食で東京でお世話になっているF氏と会う、彼は酒田市から大使として委嘱され誘致企業、酒田市の情報発信としても活躍している人でもある。酒田商業高校同窓会東京支部の理事でもあり、銀行を経て外資系保険会社に出向し役員で活躍している。食事しながら1時間ほど意見交換する。チェックアウトが12時までとなっており、午前中整理する。定数2に対し8人が乱立している宮城県選挙区、仙台は朝から選挙カーそして駅前では街頭演説、我が「カンテツ」候補は名取市方面である。岩手二戸に向かう。伊沢候補の応援である。小沢王国の元で何時も候補者を擁立し闘っている岩手県連、今回は連立政権であれば擁立しない方針であったが、離脱後「伊沢」擁立決定し戦う体制を敷く組織には敬意を表す。個人演説会場は教育会館であり参加者は約60人、県教組、自治労など組合員、OBが多かった。明日福島であり福島に10時過ぎ着く。ホテルに入る前に、近くの焼き鳥で夕食、マスターは福島県連幹事長の弟と同級生であり、福島党首が遊説で着た時、

携帯電話でとった写真を見せてくれた。知らない土地でぷらっと入り雑談するのは、いい勉強になる。サッカー、キックオフ、急いでホテルへ 試合結果はPK戦で敗退、しかし負けて悔い無し、私達に多くの感動を与えてくれた。岡田ジャパンありがとう。眠い。

6月30日

8時ホテル出発、福島から会津若松まで福島県連から車で送っていただく。約1時間半福島県連の戦術、組織状況を伺う。どこも同じで党员の高齢化、でも元気がある。候補者を擁立していないが、各総支部毎、日程を組み擁立している選挙事務所と同じ動員体制をとりながら闘っている。会津総支部は自前の事務所をもち県議はいないが、代表中心に4人の市議会議員が頑張っている。又、各支部単位に市町議会議員がフルに動いている。福島県は「みんなの党」が急成長である。比例代表、選挙区に候補者を擁立し注目の的になっている。B町では学校給食がPFI方式で業者丸投げ、しかし社民党議員が反対の声をだしても、ドンドンすすんでいく状況に頭を抱える。合法であると開き直る町長、業者との癒着の疑いもあり連携しながら取り組むことを確認する。5時過ぎに蔵とラーメンで有名な喜多方市に入る。2時間ビッシリ遊説し7時で終了、「ラーメン」を食べて米沢駅まで送

っていただく。今日は多くの方々からご苦勞をおかけした。福島県連の皆さんに感謝である。30分遅くなり山形選対事務所へ戻る、明日からの山形日程を確認しホテルへ、送って頂いたN氏と軽い寝酒

7月1日

朝8時、山形市役所前で石沢議員と街頭演説、午前中、山形、上山遊説し、途中ウグイス嬢はいる、午後からは寒河江、西村山遊説、6時過ぎに戻るが、途中ウグイス嬢と遅い夕食をとる。自宅着くのが10時前

7月2日



朝7時半、ウグイス嬢と戸沢へ、午前中新庄最上遊説し午後から庄内を遊説する。夕方は谷本元参議院を呼んで社民党演説会を新庄、庄内町で開催する。新庄会場は170名、庄内町は300名、特に地元庄内町は「響ホール」500名固定椅子であるため空席が目立ちがっか

りする。終了後谷本先生を囲んで意見交換

7月3日

朝5時半出発し長井市へ、西置賜町村を遊説し、11時米沢市で街頭演説会、約100名集まる。1時半からは山形駅西口広場で街頭演説会約200名集まる。6時過ぎまで遊説、ウグイスは自治労書記局担当する。



7月4日

7時半でウグイス嬢と村山市へ、半日、北村山地域を遊説し、午後から新庄遊説、途中降りて支持者、企業訪問する。

7月5日

酒田、鶴岡と庄内地域遊説



7月6日

朝5時半で秋田県湯沢へ、本荘周りで向かったので3時間以上かかり遅れてしまう。遊説しながら6時半、大曲で演説会、約70人集まる。各支部引継ぎしながら計画組んで頂いたことに感謝する。佐々木県連副代表（県議）が中心として企画、終了後役員10名と意見交換

7月7日

朝8時からスタート、先導者、党車、随行車3台で遊説、ウグイスも2人同乗し15箇所街頭演説、2時で降りて福島県へ、佐々木幹事長のお膝元とは言え、候補者がいない中で3台連ねての街宣、取組みに感謝である。6時半から福島氏の演説会出席し終了後山形へ、迎えに来てもらい自宅着11時廻る

7月8日

朝8時で出発し山形事務所において党三役会議で意思疎通を図る。厳しい状況を確認しながら各支部へ激を送る。

7月9日

地元あいさつ廻り

7月10日

朝7時出発し、K会社、H会社に最後のお願ひ。M多機能施設を訪問しS医者と昼食

2時からG会社の経営会議に出席し、その後支持者廻り、18時から「10日会」出席、この会は事業主達の会であり毎月10日に例会である。平成18年度「貸金業法の改正」行われ6月より施行されている為多くの課題が提起された。

「貸金業法の改正」

現在貸金業者による無担保無保証の消費者向け貸付は、貸付残高約13.8兆円、利用者は約1170万人と巨大な貸金市場が形成されている。その中で多重債務問題が深刻になり貸金業者利用が5件以上の方は約180万人、平均借入金は約240万と膨らんでいる。改正は金利体系の適正化、総量規制の導入が改正の趣旨であるが、「サラ金」業者の規制は当然であるが、ブラックリストになっている方に貸した場合は業者が罰則を受ける内容になっており、良心的な貸金業者、一度失敗しながらも立ち上がろうとしている利用者にとっては厳しい一面にもなっている。ヤミ金融対策の改正であるが、これから貸金業者すべてに端末機導入されブラックリストが直ぐ判断されるようになり、ヤミ金融に走る人たちが多くなる危険もある。改正以降の動向を見ながら対応していく。

7月11日

投票日である。「山形県母子寡婦福祉大会」出席の為8時半自宅出発、母子会の歴史は古い、戦場で夫を失い女手ひとつで子どもを育ててきた方々が互いに助け合い励ましあって生活の向上を図ってきた自主組織、しかし、会員の高齢化、そして母子、父子世帯になった原因は離婚が87%で死別は6%、子育て等抱える課題は多いが雇用問題が深刻になってきている。子育て支援策や住宅政策など進めてきているが、就業支援策はまだみだである。教育訓練給付金などの充実が問われている。終了後一度自宅に戻り、19時山形に向かい梅津候補の「開票見守る会」へ、向かう途中出口調査報告が入る。厳しい内容である。結果は惜敗、自治労、地元開票見守る会に出席しながら朝方4時を廻ってしまう。社民党の得票も伸びない。福島党首のみの当確、吉田が出てこない。吉田当確出た時はほっとすると共にこれからどうするか……

